

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成熟  
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20  
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2018年  
8月号

Mathematics Abacus Chinese character

# MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

## 名将、ノムさんの教えとは？

### ～名監督は、選手に何を教えるのか～



この時期になってくると、優勝争いが気になってくるのがプロ野球です。ちなみに私は東京ヤクルトスワローズといういわゆるマイナー(?)チームが好きなのですが、そのヤクルトで長年監督を務め、弱小チームを常勝軍団に育て上げたのがノムさんこと野村克也監督です。

このNEWSをご覧の方にはプロ野球に全く興味の無い方も多いとは思いますが、実は野村監督の教えには、野球をしていない者でも学ぶことが多いので、ぜひこの機会に野村監督を知り、そしてヤクルトスワローズも好きになって頂ければ幸いです(笑)

## 「クビ宣告」から努力を重ね「三冠王」へ

京都の田舎町で生まれ育った野村少年は、中学2年生より野球を始めます。非常に貧しい家庭だったので、当時はバットを買ってもらえず、海水を入れた一升瓶を持ち帰り、素振りをする日々だったそうです。

高校時代は毎年 1 回戦負けの弱小チームだったものの、求人広告に南海ホークス（今のソフトバンクです）が選手の募集広告を出していたのを見つけ、入団テストを受けたところ合格、契約金 0 のテスト生（キャッチャー）として入団を果たします。

しかし入団 1 年目の成績は 9 試合に出場し、11 打数ノーヒット。シーズンオフにマネージャーに呼び出されクビ宣告をされたのですが、よく試合に出ていたキャッチャーの 3 人が立て続けに怪我や事故、トレード（他のチームに移籍）となり、キャッチャーがいなくなったため、何とか退団せずに済みました。

## 見ている人は、見ているのです

ある日、2 軍の練習中にコーチが選手たちを呼び出します。

「おまえら、手を見せてみる！」

コーチは選手たちの両手を見て、

「何だこのツルツルの手は！それでもプロの選手か！？みんな野村の手を見てみる、これがプロの手だ！みんな野村を目標とするように！！」

コーチは各選手の手を見ることで、どれだけ素振りの練習をしていたのかを見たのです。野村は人よりも打てないことを自覚していたので、人の 2 倍、3 倍の努力をしていました。そのお陰で野村の手はマメだらけでカチカチになっていました。それをコーチはちゃんと見ていたのです。

コーチに注目してもらえるようになった野村は、試合にもよく使ってもらえるようになり、努力の甲斐もあって 2 軍で良い成績を残し、見事 1 軍に昇格します。1 軍定着後も努力を続けた野村は、27 年間に渡り 1 軍で活躍を続け、戦後初の三冠王（打率・ホームラン数・打点数の全ての項目で一位）という快挙を成し遂げます。

そして自身の所属していた南海ホークスで 10 年間監督を務めた後、1,990 年より当時弱小チームだったヤクルトスワローズの監督に就任するのです。

## どのようにして「弱小チーム」を「常勝軍団」に変えたのか

万年Bクラス（下位順位）のヤクルトの監督に就任した時、当時の球団社長に掲げたのが以下の目標でした。

『1年目には種をまき、2年目には水をやり、3年目には花をさかせましょう。』

その言葉の通り、1年目は5位、2年目は3位と順位を上げ、3年目で14年ぶりのリーグ優勝を果たしたのです。

野村監督は弱小チームを変えるため、まずは何から着手したのでしょうか？

監督就任1年目、練習終了後には毎日ホテルの一室に選手たちを集め、ミーティングの場を設けました。選手たちはこれを「野村時間」と呼んでいたらしいのですが、そこでは徹底的に『野村の考え』を選手たちにたたき込みました。そのほとんどは野球の技術のことではなく、「人間学」「社会学」だったのです。

野村監督は当時を振り返り、

「彼らは私から言わせれば、プロ野球選手である以前に人間であり、社会人なんですよ。まずは、『人は何のために生まれてくるのか？』『何のために社会に存在しているのか』ということを考えないといけない。

では、それをプロ野球の世界に当てはめて考えてみれば、選手はわざわざお金を払って見に来てくれているファンの為にプレーしなければならない。ファンが最も喜ぶことはチームの勝利なのだから、チームが一丸となって勝利を目指さなければいけない」

といった内容のことを語ったといいます。つまり、当時のヤクルトは、個々が「チームが弱いから自分が頑張って結果を残そう」と個人のことばかりに目が行き、チームとしてまとまっていない状態だったのです。

弱者が強者に勝つため、野村監督がまず始めたのは「意識改革」でした。

## 野村監督の残した、数多くの名言

野村監督は長きにわたる監督生活の中で、名言をたくさん残されています。その中から一部を紹介します。

- ◆「どうするか」を考えない人に、「どうなるか」は見えない。
- ◆「楽」を求めたら、「苦しみ」しか待っていない。
- ◆「恥ずかしい」と感じることから進歩は始まる。
- ◆「叱る」と「褒める」というのは同意語だ。情熱や愛情が無いと、叱っても、ただ怒られているというとらえ方をする。
- ◆人を判断するときは、決して結論を急がないこと。
- ◆不器用な人間は苦勞するけど、徹してやれば器用な人間より不器用な方が、最後は勝つよ。
- ◆限界が見えてからが勝負だ。
- ◆「もうダメ」ではなく、「まだダメ」なのだ。

いかがでしたか？スポーツ以外にも当てはまる言葉ばかりですね。

## 論語の教え「耳順」 ～人の言うこと、素直に聞いている？～

野村監督は「野村時間」の中で耳順（じじゅん）について話しています。これは MAC の授業でも音読している「論語」に出てくる、孔子の言葉です。

漢字の通り『耳に順う（したがう）』、つまりは「他人の言うことを逆らうことなく素

**直に聞く**」という意味で、上達にはむさぼるように聞く・身を乗り出して聞く・顔を輝かして貪欲に聞くことが必要である、と説いています。

これはスポーツでも、勉強でも、何の分野でも重要なことです。

何も考えず言われたことだけをしていただけでは、自らの成長には繋がりませんが、人の意見も聞かずに「自分で考えて行動する」だけに固執すると、どうしても視野が狭くなり、間違った方向に走りがちです。

数年前に文科省の初等中等教育局長が明示した、「**これからの時代に日本国が育成すべき、理想とされる人物像**」には、こう書かれています。

- ◆ 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- ◆ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心

最近の小・中学生を見ていて感じるのは特に 2 個目の項目「**自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心**」の部分が弱いということです。

自分のことさえ頑張っていたらいい、自分は自分、他人は他人といったように、他者も含めた広い視野で行動出来る子が少ないように感じます。(ちょっとは自分のことに集中しなさい！というほど、自分のことよりも 他人にお節介過ぎる子も中にはいますが・・・笑)

これからは英語だ！プログラミングだ！と高い知識や能力を必要とされているように思いますが、たとえそれらの能力を持ち合わせていたとしても、人間的な魅力がなければ、持っている能力も無駄に終わります。

MAG に通うみんなには、「頭」の勉強はもちろんですが、それ以上に「心」の勉強をしてもらえるよう地道に、気長に「意識改革」を続けていきたいと思っています。

# ひと い すなお き 人の言うこと、素直に聞けていますか？

みなさんは日頃、おうちの人や先生の言うことを素直に聞けていますか。  
「え〜」「でも〜」「むり〜」とか言っていないませんか・・・？

## へんじ たいせつ 「ハイ！」の返事がとても大切ですよ

しょうがくぶ じゅぎょう なか おんどく ろんご なか じじゆん  
小学部のみんなが授業の中で音読している論語の中に「耳順」という  
ことば で いみ なにごと すなお みみ かたむ しんじつ りかい  
言葉が出てきます。その意味は「何事も素直に耳を傾ければ、真実を理解  
することができる」です。

おも だ くだ まいにち ひと せんせい いろいろ  
思い出してみてください。毎日おうちの人や先生は色々なアドバイスを  
してくれていると思います。その時素直に「ハイ」という返事ができて  
いますか？

とうぜん ひと せんせい おも いろいろ  
当然のことながら、おうちの人や先生はあなたのためを思って色々  
アドバイスをしています。そんな時はブツブツ文句を言うのではなく、  
きも へんじ  
気持ちよく「ハイ」と返事をするのです。

「ハイ」という返事をすると、言われたことがずっと頭に入ってきて、  
ただ こうどう  
正しい行動ができるようになります。

まずは、「え〜」「でも〜」「むり〜」ということを無くしましょうね。



じじゆん みみ したが  
「耳順（耳に順う）」

たいい なにごと すなお みみ かたむ  
(大意) 何事にも素直に耳を傾ければ

しんじつ りかい  
真実を理解することができるようになる

こうし ろんご か じゆか  
孔子 ～「論語」を書いた儒家～

じぶん へや めだ は よ かえ  
自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。